

# 原市小だより



学校教育目標 「豊かな心を育み、自ら学びたくましく生きる子」

カラー版は [上尾市立原市小学校](#) [検索](#) から  
(原市小ホームページ)

上尾市立原市小学校  
令和3年9月30日  
学校だより No. 7 10月号  
編集責任者 校長 豊田 好伸

## 「子育てに真剣に向き合う」

校長 豊田 好伸

28日に、緊急事態宣言は30日までとすることが発表されました。まん延防止等重点措置への移行もなく、学校行事開催のことを考えると心からほっとしています。学校としては、今後も気を緩めることなく、実効性のある感染予防対策を行ってまいります。そして、子供達の笑顔がさらに増えてくるように、コロナ禍前に行っていた教育活動に一步步近づけていきたいと思えます。保護者、地域の皆様の御理解、御協力をお願いいたします。

さて、最近、子育ては難しいと若いご夫婦からよく聞くことがあります。テレビでも子育て論で白熱している番組をよく見ます。私のところにも、時々教え子が「我が子の育て方」を聞きに来ることがあります。そんな時、私が「育て方の正解」を知っているはずもなく、いや、正解があるはずもなく、だいたい雑駁な話をしてしまいます。「いやいや、あなたたちは教育者であり、プロでしょ」という声が聞こえてきそうですが、プロとして思うように育てることは至難の業なのです。なかなか思い描くようにはいきません。ただ、私の経験から得た、育て方の法則というものがあり、教え子にはその話をするようにしています。私の経験上では、かなりの確率で当たります。あくまで私見です。

紹介してみましょう。①子供が楽しみにするような食事と団欒を経験している子供はまっすぐ育つ。②温かい家庭を味わっている子供は問題行動が少ない。③勉強しろと言い過ぎると子供は勉強しなくなる。④家庭の中で決まったルールがあると、子供は落ち着いた行動を取るようになる。⑤小学校時代の問題行動は中学校で必ず繰り返す。⑥親が子供に暴力をふるうと、その子供は学校で暴力をふるう、等々です。

私自身も子育てを振り返ってみて、決して満足のいくものではありませんでした。働きながらの子育てはとても大変で、いつも嘆いていたことを思い出します。半端ない疲労感も感じていました。本校でも働いている保護者の方は多いようですから、子育てにたくさんの労力を費やしているのであろうと、少し心配をしながらみえています。そんな時は少し気を楽にして、一つのことには一生懸命取り組んでみてはいかがでしょうか。視点を一つにするとよいと思えます。私もこれだけでいぶん気を楽にすることが出来ました。

例えば、「子供と一緒に風呂に入る」と決めたら、これを親として毎日頑張ります。力を入れるのはここだけです。あとは普通に流します。「これで子育ての半分はやっていることになる」と私は思っています。なぜ半分になるか。それは、「お風呂と一緒にいる」ことで他の行動も同時に行うことができるからです。体から子供の変調を察知できる。お風呂の中で会話をすることができる。子供の顔をじっくり見ることができる。一つの行動でも、実は多角的に子供に関わる方法であったりします。お風呂以外でも、保護者と子供と一緒に出来る事、出来そうな事、探せば色々あるのではないのでしょうか。

子供を育てることは大変なことです。楽なはずがありません。しかし、子供が成長し、物事を理解し、親の予測を超えた行動を取るようになると、とても感動したりします。何とも言えぬ嬉しさが体中に広がります。その喜びを希望に、子育てを頑張ってください。学校としても応援しています。